

さんびょう

三錨

本気に 元気に 根気よく

がっこうきょういくもくひょう ゆめ きぼう も みらい む こころりた そだ あ こ いくせい 【学校教育目標】夢と希望を持ち、未来に向かって心豊かに育ち合う子どもの育成

本を読むと、どのような効果があるの?

6月3日~14日は、読書週間でした。読書週間には、朝の読書や図書委員さん、担任の先生、図書ボランティアさんによる読み聞かせ等、様々な取組が行われました。

その中でも、今年から新たに取り組んだのが、「スタンプカード」です。読書週間中の休み時間に図書室で読書をするとスタンプがもらえます。そして、合計8個のスタンプが集まると「図書室会員証」を発行してもらえます。

「図書室会員証」があると、

- ①会員証を出すだけで本を借りることができる。
- ②図書室の「ツウ」になれる。
- ③2,3学期の読書週間でも強い続けると、グレードアップする。ゴールド会員証になれば、なんと1度に3冊借りることができる。

という、すごいカードなのです。

この取組は、大成功!!読書週間中の図書室は、運日満席!除に整って奉を読む予もいたほどです。今回会員証をもらえなかった子ども達も、次回ぜひ挑戦してほしいと思います。

読書週間が、予ども達にとって緊に親しむ良い機会になったことは間違いありません。これからもたくさんの緊に親しんでほしいと思います。









さて、タイトルに書いた「紫を読むと、どのような効果があるの?」ということですが、一般的によく 言われているのが、次の3つの効果です。

①集中力が養われます。

しゅうちゅうりょく がくりょく よ えいきょう ・集 中 力がつき、学力にも良い影響があります。

②人の気持ちを理解できるようになります。

- ・語彙力が嵩まることで、人の話を聞けるようになり、人の気持ちを理解できるようになります。
- ・大人になってからもコミュニケーション能力や社会性が高いといわれています。

③言語能力が身に付きます。

- ・正しい言葉遣いができるようになる等、言語能力が付きます。
- ・正確に物事を理解できるようになるので、正しい判断ができるようになります。

このように、「本を読むことによる効果は、大切なことばかりです。しかし、ゲームやインターネット等、 楽しいことがたくさんある現代の字ども達は、「本を読む時間が減ってきているように思います。

字どもを挙ずきに賛てる予法の節に、「親が読書をする」「字どもの読書をほめる」というものがあります。おだしいことと思いますが、お家の方が本を読む。姿を見せていただいたり、字どもが読む巻に関心を持ちプラスの声かけをしていただいたりすることも大切です。これから复体みにかけて、字ども達が読書をする絶好の機会です。ぜひご協力をお願いします。

本校の学校づくりビジョンには、「本好きの子どもの育成」を掲げています。「本を読む=勉強」ではなく、「本を読む=楽しいこと」と感じることができる報題を、今後も進めていきたいと**考えています。